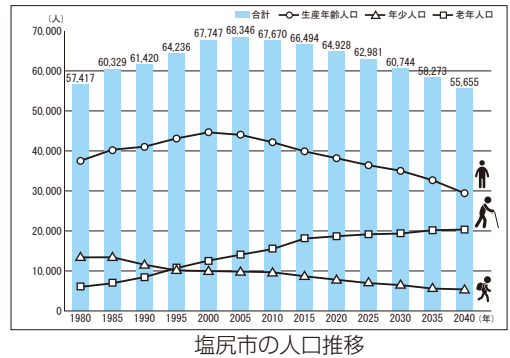




問 数値目標の設定の仕方に関係はないか。人口統計学で計算した将来の人口推計には幅があり、推計値が振れると目標値も変わってしまう。市内10地区66区の実態を踏まえた区民による人口目標値を積み上げる方法など、市独自の手法、市民との協働で取り組むやり方を研究、検討する必要があるのでは。(青柳)

答 指摘のとおり、施策の展



問 第五次総では、人口減少にどう対処するのか。教訓を生かす必要がある。数値目標はどう立てるのか。(青柳)

答 人口減少の急速な進行は重大事態と捉え、平成35年度目標人口を6万5千人以上と設定し、具体的な人口誘導策を検討していく。



宿泊体験施設としての空き家活用は…

問 ふるさと寄付金の御礼に「塩尻宿泊体験ご招待券」を贈り、未使用の教職員住宅などを活用し、滞在の機会を設けてはどうか。(宮田)

答 施策の具体化を進めたい。人口目標達成のための宅地確保対策はどうか。(中村)

問 個々の施策がバラバラのままではなく、全体として人口誘導に体系化されて行くことが大切だ。合併特例債に依存したハコモノ建設主義からは脱却し、安定的な人口を確保出来るか、それで市政担当事の評価は決まる。(青柳)

答 開には地域の多くの主体の参加が必要不可欠。今後の、中期戦略具体化の中で、より多くの主体に参画を促す仕組みづくりに取り組みたい。

問 できたことはなにか。(金子)

答 選挙公約と合わせ、第四次総合計画の実行に取り組み、概ね順調に進んでいると確信している。市街地の整備・再編については、塩尻駅の駅前周辺整備の事業は完了、広丘

小口市政 3期を検証

◆3期12年の市政運営の成果と将来

問 全体で42haの宅地開発が必要。開発誘導エリア10ha市街化区域20ha等で、1千400区画という試算をし、市外からの転入予測等を考慮し積み上げをしている。

答 必要。開発誘導エリア10ha市街化区域20ha等で、1千400区画という試算をし、市外からの転入予測等を考慮し積み上げをしている。



開発誘導エリア



整備事業が完了した塩尻駅前

問 駅前は年度未完了予定。経済分野では、17年に地域ブランド戦略を策定して以降、大都市向けに集中的な活動を行い、桔梗ヶ原ワインの知名度が大幅にアップしている。また教育分野では、30人規模学級の導入、米飯給食の拡大などの施策を推進してきた。

問 できなかったことはなにか。(金子)

答 実現に至らなかった分野としては、新築に向け検討を始めた市民体育館については、当初想定していた平成26年度完成期限とした方向付けにはいたっていない。しかしながら、財源も含めた十分な情報公開により、今年度未までに民意による方向付けをしたい。